

共用基準範囲の採用について

臨床検査技師 片野 春夫

2021年4月1日より当院では共用基準範囲を採用します。

《共用基準範囲とは・・・》JCCLS（日本臨床検査標準協議会）が健康者の大規模調査データをもとに、日本国内で 共通に利用可能な基準範囲として設定したもので、日本医師会をはじめとする関連団体の賛同を得てリリースされた基準範囲です。《導入のメリットは・・・》今回採用する「共用基準範囲」は、国内の多くの施設での採用が想定されており、採用施設ではどこで検査しても同じ評価基準で判定されることとなります。

臨床検査 基準値変更点一覧

信楽園病院臨床検査科/2021/4/1

検査項目	旧基準値	新基準値	測定法
ナトリウム Na	135~152 mEq/l	138~145 mmol/l	電極法（1997/8/4-）
カリウム K	3.5~5.5 mEq/l	3.6~4.8 mmol/l	
クロール CL	98~108 mEq/l	101~108 mmol/l	
尿素窒素 UN	5~20 mg/dl	8~20 mg/dl	酵素法（1997/1/5-）
クレアチニン CRE	M 0.70~1.20 mg/dl	M 0.65~1.07 mg/dl	CRE 小数点2位(2015/8-) 酵素法（1989/6-）
	F 0.60~1.00 mg/dl	F 0.46~0.79 mg/dl	
尿酸 UA	M 3.0~7.0 mg/dl	M 3.7~7.8 mg/dl	ウリカーゼ・POD法 (02/5/1-M基準値変更)
	F 2.5~6.3 mg/dl	F 2.6~5.5 mg/dl	
無機リン IP	2.5~4.5 mg/dl	2.7~4.6 mg/dl	酵素法（1999/4/22-）
カルシウム Ca	9.1~10.9 mg/dl	8.8~10.1 mg/dl	酵素法（1997/11/1-）
総コレステロール T-CHO	130~219 mg/dl	142~248 mg/dl	酸化酵素法（99/4/22-）
中性脂肪 TG	50~149 mg/dl	M 40~234 mg/dl	酵素法・グリセリル消去（99/4/22-）
		F 30~117 mg/dl	
LDL-コレステロール	70~139 mg/dl	65~163 mg/dl	酵素法（直接法）
HDL-コレステロール	M 35~70 mg/dl	M 38~90 mg/dl	酵素法（直接法）
	F 40~75 mg/dl	F 48~103 mg/dl	
血清鉄 Fe	M 80~199 μg/dl	40~188 μg/dl	トコ - PSAP法（1992/5-）
	F 70~179 μg/dl		
AST (GOT)	10~27 IU/L	13~30 U/L	JSCC標準化対応法
ALT (GPT)	5~33 IU/L	M 10~42 U/L	JSCC標準化対応法
		F 7~23 U/L	
ALP	96~284 IU/L	38~113 U/L	IFCC標準化対応法 (2021/4-)
LDH (LD)	110~220 IU/L	124~222 U/L	IFCC標準化対応法 (2021/4-)
CPK (CK)	M 24~195 IU/L	M 59~248 U/L	JSCC標準化対応法
	F 24~170 IU/L	F 41~153 U/L	
コリンエステラーゼ ChE	M 200~430 IU/L	M 240~486 U/L	P-ヒド 時パ ヅ 汎ヨリ法 (2006/5-)
	F 180~400 IU/L	F 201~421 U/L	
γ-GTP	M 10~66 IU/L	M 13~64 U/L	JSCC標準化対応法
	F 10~55 IU/L	F 9~32 U/L	
総ビリルビン T-BIL	0.2~1.0 mg/dl	0.4~1.5 mg/dl	酵素法（2006/5-）
血清アミラーゼ AMY	42~116 IU/L	44~132 U/L	Et-pNP-G7基質法
総蛋白 TP	6.7~8.3 g/dl	6.6~8.1 g/dl	ビュレット法
アルブミン ALB	3.8~5.3 g/dl	4.1~5.1 g/dl	改良BCP法（2012/11/1-）
A/G ALB/(TP-ALB)	1.2~2.0	1.32~2.23	計算法（ビュレット法/改良BCP法）
血糖（空腹時）	60~100 mg/dl	73~109 mg/dl	電極法（2006/5-）
HbA1c (NGSP)	NGSP 4.6~6.2 %	NGSP 4.9~6.0 %	HPLC（高速液体クロマトグラフィー）
CRP	0.30以下 mg/dl	0.00~0.14 mg/dl	ラテックス凝集比濁法（1999/4-）
IgG	870~1700 mg/dl	861~1747 mg/dl	免疫比濁法（99/4/22-）
IgA	110~410 mg/dl	93~393 mg/dl	免疫比濁法（99/4/22-）
IgM	M 32~190 mg/dl	33~183 mg/dl	免疫比濁法（99/4/22-）
	F 46~260 mg/dl	50~269 mg/dl	
C3	85~160 mg/dl	73~138 mg/dl	免疫比濁法（99/4/22-）
C4	16~45 mg/dl	11~31 mg/dl	免疫比濁法（99/4/22-）
甲状腺関連検査			
FT3	1.71~3.71 pg/ml	1.88~3.18 pg/ml	CLIA法（2012/11/1-）
血液検査			
白血球数 WBC	M 3900~9800 /μl	3300~8600 /μl	半導体レーザーを使用した フローサイトメトリー法
	F 3500~9100 /μl		
赤血球数 RBC	M 427~570 × 10 ⁴ /μl	M 435~555 × 10 ⁴ /μl	シースフローDC検出方式
	F 376~500 × 10 ⁴ /μl	F 386~492 × 10 ⁴ /μl	
血色素量 Hb	M 13.5~17.6 g/dl	M 13.7~16.8 g/dl	SLS-Hb法
	F 11.3~15.2 g/dl	F 11.6~14.8 g/dl	
ヘマトクリット値 Ht	M 40~52 %	M 40.7~50.1 %	シースフローDC検出方式
	F 35~45 %	F 35.1~44.4 %	
MCV	83~100 fl	83.6~98.2 fl	シースフローDC検出方式
MCH	27~34 Pg	27.5~33.2 Pg	MCH = Hb/RBC×1000
MCHC	32~36 %	31.7~35.3 g/dl	MCHC = Hb/Ht×100
血小板数 Plt	13~36 × 10 ⁴ /μl	15.8~34.8 × 10 ⁴ /μl	シースフローDC検出方式

※白血球数、赤血球数、血小板数の単位は変更しません。

基準範囲は、健康な人の多くが入る範囲で、検査結果を解釈するための目安として用いられます。

基準範囲内でも症状がみられることや、病気と診断される場合もあります。

基準範囲を外れた = 異常、病気があると即断してはいけません。

基準範囲に入った = 正常、病気が無いと即断すべきではありません。

検査結果の解釈は、様々な検査の結果をもとに「総合的な判断」により行われます。

個人的な解釈により、間違った判断をしないよう結果の解釈に関しては「医師」に確認してください。